

第68回金沢大学学長選考・監察会議 議事概要

日 時 令和7年8月26日(木) 16時00分～16時40分
場 所 本部棟大会議室
出席者 河田悌一(議長), 後藤ひとみ, 渡辺芳人
森本章治, 飯山宏一, 山本卓, 松本宏一, 堀修, 小島治幸, 河崎洋志
(以下, オンラインによる出席者)
有松育子, 原田明久, 山内雅喜, 瀬戸章文
欠席者 新保博之, 里見進
監 事 稲垣美智子, 浅野哲夫

1. 議 事

(1) 学長の再任審査 [資料1]

議事に先立ち, 事務局から, 資料1に基づき, 学長の再任審査に係る国立大学法人金沢大学学長選考等規則等の規定について説明があった後, 所信表明書, 業績調書等の書類審査, 学内構成員からの再任に対する意向聴取及び学長への面談の結果を踏まえ, 学長の再任の可否について審議を行った。

審議の結果, 現学長は, 本会議において定めた「学長に求められる資質及び能力」を十分に備えていることを確認し, 第4期中期目標・中期計画期間の残る2年において, 計画を着実に遂行し, 金沢大学を発展させる強い意志を有する適任者であると判断したことから「再任を可」とすることを全会一致で決定した。

[委員からの主な意見]

- ・学長の就任以降, 構成員との対話を実践し, 課題・タイムラインを意識しつつ, 類まれなるリーダーシップ, スピード感をもって大学改革を進め, 着実に実績を重ねており, 高く評価したい。
- ・一方, そのスピード感故に全ての構成員がその方向性・内容を理解し, ついてこれているかは学長も課題として認識しているとおりであり, 事業開始後, 必要に応じた見直し・振り返りも重要であると提言したい。
- ・意向聴取において, 多様な意見を聴取することが出来た。今後の課題として, 例えば「360度評価」を取り入れる等, より広い範囲を聴取対象とできるような方法を実施し, 定量的・客観的な評価指標として, データを用いながら, 学長選考・監察会議で多面的に審議するような仕組みが必要ではないか。